

関宮学園

令和5年度
-12月-
発行 11/24



関宮学年文化祭 11 / 3

ノビアホールで、後期課程の生徒による演劇、合唱、吹奏楽部の演奏を行いました。年々、子どもたちが成長している姿が頼もしかったです。観劇の5・6年生も幕間コントにチャレンジし、吹奏楽部の演奏では、音楽に合わせてステージ、客席で踊り会場を盛り上げました。



合唱は4年ぶりに、マスク無しで行いました。

多くの方のご来場、ありがとうございました。



学習発表会 11 / 10

関宮学園文化祭の1週間後、前期課程の学習発表会を行いました。

本年度は、入場制限を解除しましたので、学年の発達段階も見ていただくことができました。

低学年のかわいらしい演技、3年生の素敵なリコーダー演奏、4年生の慣用句を使った劇。後期課程の刺激を受けた5・6年生は、自分たちでできることは自分たちでやり遂げようと、チャレンジしました。



野球部(関宮学園・八鹿青溪中合同チーム)
兵庫県新人軟式野球大会 準優勝
近畿秋季軟式野球大会 準優勝

たすきを繋ぐ

10月28日(土)には、ジオパーク小学生駅伝競走大会兼但馬小学生駅伝競走大会、11月7日(火)には、但馬中学生駅伝競走大会がありました。関宮学園は両大会に出場しました。子どもたちは精一杯の走りをし、たすきを繋ぎました。

子どもたちの頑張る姿には感動します。特に駅伝は、次の仲間にたすきを繋げようと、懸命に走る姿に感動します。今回、病欠によりメンバーがそろわなくなってしまった中学生女子チームが、オープン参加となりながらも4人でたすきをつないで走りきった姿には、多くの方から賛辞をいただきました。

以前のジオパーク駅伝大会開会式のあいさつで、「駅伝では頑張っても、後ろから来た人に抜かれてしまうこともあるかもしれません。そんなことは、これからの人生で何度もあります。それでも諦めず、次の人に繋げようと走り続けることが大切なのです。」との話がありました。調子が悪くて順位を落としてしまっても、たすきを繋ぎさえすれば、後の仲間が挽回してくれるかもしれません。直向きにがんばり続けることで、いつかチャンスが巡ってくるものです。

たすきを繋ぐのは、駅伝だけではなく。みんなの頑張りを次の学年、後輩たちに繋いでいくことも大切なことです。

